



# 2010年 通常総代会

2010年通常総代会を6月4日、大阪市中央区の松下IMPホールで開催しました。総定数495名中492名(委任状・書面議決を含む)、オブザーバー5名中、2名が出席し、全議案が可決されました。

## 全ての議案を可決

山本理事長のあいさつに続いて、来賓の方々12名を代表して、大阪府民文化部 男女共同参画NPO課・NPOグループ課長補佐 多賀井泰道氏が橋下徹知事のメッセージを代読されました。また、大阪市、枚方市、寝屋川市、交野市、四條畷市の各市長より通常総代会に祝電・メッセージをいただきました。続いて、理事会から映像を使った活動報告と第1号議案から第3号議案まで一括して提案を行いました。会場からは12名の総代の発言があり、発言に対する理事会のまとめを行いました。議場閉鎖の後、採決に入り、全議案が可決されました。最後に、総代会アピールを提案、拍手で採択され通常総代会が終了しました。

### 2010年 通常総代会議案採決結果

議案	反対	賛成
第1号議案 2009年度活動のまとめ、事業報告、剰余金処分案承認の件 監査報告	2	多数
第2号議案 2010年度事業計画・収支予算案、ならびに役員報酬決定の件	1	多数
第3号議案 定款・規約の一部変更および役員選任規約新設の件(特別議決議案) ①定款の一部変更 ②総代選挙規約の一部変更 ③総代会運営規約の一部変更 ④役員選任規約の新設(役員選挙規約の廃止)	2	2/3以上の多数

## 平和でより豊かに



大阪D選挙区 総代 岩田まり子さん

今年、NPT再検討会議にむけて平和の活動が旺盛にありました。「生協でどうして平和活動をするの？」と時々聞かれます。私たちのへらへらは、まず平和であってこそです。これからは、生協だからこその平和活動をとりこんでいきたいと思えます。

## 「生協」ならではの力を発揮して



大阪D選挙区 総代 岩田まり子さん

配達の仕事が商品の良さを伝えていけたら利用は必ず増えると思えます。配達効率を上げることも経費削減のひとつですが、「配達の荷受け場で組合員と必ず話をする時間」は生協ならではのものだと思います。力を合わせて「生協」ならではのひととひとのつながりを発揮していきたいです。

## J・A津軽みらいの産地に 盲導犬と参加して



大阪D選挙区 総代 宇根山千恵子さん

青森では、産地の方も盲導犬のルツシーを温かい目で見てくださいましたし、理解もしていただきました。リンゴの話や、産地の方々と握手したり、リンゴの实つている木を触ったりして、体で感じ取りました。実際に産地に行くと、産地の気候、産地の方々の話を聞いてよかったです。

## 剰余金処分案について



大阪B選挙区 総代 坂上美枝子さん

共同購入利用割戻し金が10年ぶりにない状況です。4月の地域総代会で細やかに一家の財布として考える方法までたどって説明され納得理解しました。30余万人の組合員への説明も丁寧なことを期待します。共有財産は大いにいかして次年度以後の事業発展に寄与してほしいです。

全ての会場発言の内容は、ホームページに掲載します。  
[http://www.palcoop.or.jp/au\\_ji/report\\_soudai.html](http://www.palcoop.or.jp/au_ji/report_soudai.html) (パソコン専用)

## 発言を受けての 理事会のまとめ(要約)

会場発言・文書発言を含め、33名の総代から発言をいただきました。議案を補強し、生協発展への期待と受け止め、今後の活動にかついでいきます。組合員の多様な分野の活動を支えるため、引き続き全力で事業の成立と経営の安定に努めます。

### ●共同購入

商品の少量規格や品数が多くて利用しにくいなどの要望は、組合員が利用しやすい事業にならねと受け止めます。職員は日常の配達の場でこのような具体的な声を真剣に聞き、生産

### ●店舗

組合員に満足いただき、買いやすい売場の実現に向け、まだまだ改善することがたくさんあります。2010年度、事業として成立すべく集中して取り組めます。それを前提に店舗出店については立地条件、規模で採算可能か判断し準備します。合わせて地域の組合員の利用で支えることも確認したいと思えます。

### ●福祉・社会貢献

高齢化、一人住まいが進む中、生協の供給事業の中で、福祉の視点的な組合員の要望をいただいています。そのことを踏まえて、福祉寄贈のあり方について整理していきます。  
\*オンラインについては、システムも含めて可能かどうかの研究を進めます。

## 総代会アピール

生協商品の利用を高め、地域に生協の輪をひろげていく中で、私たちの暮らしを守っていきましょう。

私たちの暮らしをめぐる状況は、出口が見えない不況の中、一段ときびしさを増しています。節約志向も相変わらず強く、将来への不安から消費も伸び悩んでいます。このような中、生協の事業・経営もきびしい状況を強いられています。

また、天候不順による農作物への影響や、口蹄疫の問題など、生産地をとりまく状況も心配です。

いまこそ協同の力をいかに使えます。生協は組合員自らが出資し、利用し、運営に参加する組織です。私たちのおおさかパルコープは、よりよい暮らしをめざして、平和・環境・くらしに関わる様々な活動を創立以来行ってきました。

特に、食品の安全・安心を守るとりくみでは、生産者やお取引先のみなさんとの交流を通して、生産者の苦労や消費者の思いを通わせ、理解を深める努力にとりこんでいます。私たち組合員が商品を身近に感じることができ、商品の良さを学ぶことで、利用もひろがります。

私たちは、商品利用の輪をひろめ、高めるとともに、組合員活動にも積極的に参加し、地域になくはならない生協を協同の力でつくりあげていきましょう！

2010年6月4日  
生活協同組合おおさかパルコープ 通常総代会

※QRコード…携帯電話のカメラ機能で情報が受け取れるコード。音声付携帯電話では情報を音声で聞くことができます。